

2019 年度実施概要

学校名

市川市立福栄小学校

採択活動名

1. 福池の復活～福栄から自然を豊かにしよう～
(総合的な学習の時間)

取り組みの概要

本学習材の特性と児童の実態を踏まえ、第1次では、「ビオトープ（福池）」の興味・関心をより高めるほか、本当に福栄小学校にビオトープは必要なのかを考えさせるために、実際に「福池」を造った中学生をゲストティーチャーに迎えたり、昔からこの土地に住み行徳一帯の様子を知る人を招いたりして学習意欲を高めるとともに、「福池」を復活させる必要性（課題）を感じさせたい。先輩たちがなぜ、「池」を作ろうと思ったのかを知ることで、単に、ビオトープ作りをするのではなく、先輩の「思い」を受け継ぎ活動するという課題が見えてくるはずである。

さらに「ビオトープとは何か」をそれに加えて調べることで、本学級の児童の課題である「探究する力」の育成を目指したい。課題を見つけ、見通しを持って計画を立てる力を育てたい。実際にゲストティーチャーを招く際は、「目的を明確にする」を心がけ、自分達で連絡を取り合い、表現力とコミュニケーション能力も併せて養いたい。

第2次では、「福池」の復活にあたって、見通しを明確にさせるために、企画書を書く活動を取り入れる。「何を、どの順番で、何が、どのくらい必要か」など、設計図も含め、自分達が造るために様々な準備が必要だと気付かせたい。それに気付き、整理させる活動を通して、自らの行為に意思決定をさせていく。意思決定した後にグループで話し合い、他者の意見も柔軟に受け入れられるようにしていきたい。また自分達の作った企画書や設計図を基に着工し、他者と協働する力を養っていきたい。

第3次では、実際に完成した「福池」を在校生や地域に発信する活動を取り入れる。自分たちはなぜ「福池」を復活させようと思ったのか、またこの先の自分達が望む「福池」の在り方を、全校児童や、復活に携わってくれた人達に伝える。そういった活動が、自分の生き方を考えるきっかけになり、今後の時代を生き抜く力が養われていくだろう。

学校教育目標の中にもある、「サファリな子」の育成のために、また変化の激しい21世紀をたくましく生き抜く力を養うために、課題を自ら見つけ、それを解決するまでの見通しを自らが立て、それを実行する。そしてそれらを振り返ることで、次に課題が見つかった際に、迷うことなく課題解決に導ける力が付くと考える。そういった資質・能力が育っていくことを単元では存分に実感でき、自信に繋げられるよう支援・指導をしていきたい。

活動中の写真

デジタルデータにて2～3枚の添付をお願いします。



実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

1. 福池の復活～福栄から自然を豊かにしよう～